



井の頭自然文化園 80周年記念イベント

飼育係からのお便り

園内で見られる動物について飼育係がアピールします！



2022年

6月号

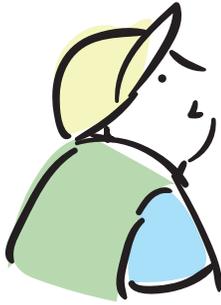
(本園) 動物園

今月のピックアップ動物は…

1 ハヤブサ
2 カタマイマイ

動物園(本園)で、最もスピードが速い・遅い生きものを比べてみましょう。

1 クールでキュートな鳥!



ハヤブサは、上空から獲物をめがけ急降下し狩りをする空のハンターです。最高速度は時速300キロメートルを超えとも言われています。

速く飛ぶハヤブサはカッコいいイメージが強いかもしれませんが、顔にあるヒゲの様な模様や、遠くからも獲物を見つける大きな目は、じっくり見るとかわいくも見えてきますよ。そんな「かっこよさ」と「かわいさ」を合わせ持つ魅力的なハヤブサを、ぜひ見にきてください。



ハヤブサ



ナスを食べるカタマイマイ

2 地味でも大切なカタツムリ

世界自然遺産の小笠原諸島。その貴重な島には100種類ものマイマイ(カタツムリ)がくらしています。文化園ではそのうちの1種、カタマイマイを飼育・展示しています。

見た目は地味な色ですが、殻にシュッと入った一本の白い線が担当者イチオシポイントです。移動はゆっくりですが、雨の日には活発に動く様子が見られるかも!

日本初、淡水専門水族館

井の頭自然文化園の水生物園には、水生物館と呼ばれる建物があります。その起源は1936(昭和11)年にオープンした日本初と言われる淡水専門の水族館でした。1942(昭和17)年の井の頭自然文化園オープン後は、水生物館は文化園の一部に。

文化園は開園から80年ですが、水生物館はそれ以上の歴史があります。

当時の水生物館内の様子(年代不明)



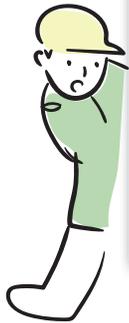
文化園80年のあゆみ

(分園)
水生動物園

こんげつ
今月の
ピックアップ
動物は…

- ④ カイツブリ
- ③ クロツラヘラサギ

水生動物園(分園)には、ユニークな姿をした鳥たちがいます。じっくり観察してみましょう。



クロツラヘラサギ

③ 不思議なクチバシ

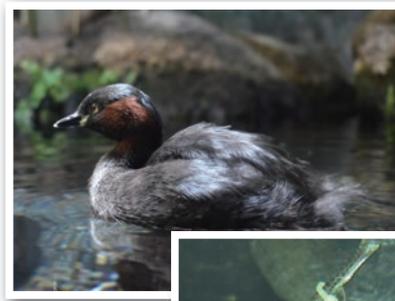
クロツラヘラサギは名前の由来にもなっているへらのような平たいクチバシを持っています。野生では干潟などの水辺でクチバシを水中に入れて左右に振り、魚やカニなどの獲物を感知すると素早くはさみとります。動物園でもクチバシを左右に振ってエサを探したり、クチバシを器用に使って羽づくろいしたりする様子を見ることができるので観察してみてください。

④ 泳ぎが得意なヒミツとは

カイツブリはダイビングがとても得意です。危険を感じたりエサとなる小魚をつかまえたりする時に、さっと水にもぐります。カイツブリの脚の指には、葉っぱのような膜がついています。水の中でもぐるぐるとは翼をたたみ、指を広げた左右の脚を同時にけて進みます。



水生動物園で水槽のカイツブリが水中を泳ぐ様子をのぞいてみましょう。



カイツブリの脚

こんげつ
今月の
ピックアップ
動物は
番号の
場所で
見られます



- ① ハヤブサ
- ② カタマイマイ
- ③ クロツラヘラサギ
- ④ カイツブリ

公式サイト、東京ズーネットでも最新情報をご覧いただけます。

東京ズーネット
TOKYO ZOO NET
<https://www.tokyo-zoo.net/>

公式 SNS やってます!

文化園の最新情報を発信しています。



Twitter



Instagram

